

授業科目名	臨床心理学 I	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	島本 裕士	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>臨床心理学についての理解を深め、その概念および役割等を学習する。 臨床心理学の目的、現代社会との関係、今後の発展と動向等を学習する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>臨床心理学の理論、対象、診断の方法を理解する。 臨床心理学について理解し、自分なりの考えをもつ。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	p2 ガイダンス/臨床心理学的自己紹介用マインドマップの作成 ※今後の講義内容および評価等を説明する				
第 2 回	マインドマップを使用し自己紹介を実施する ※自己紹介終了時間によるが第3回講義内容を実施する				
第 3 回	p7 臨床心理学とは/4大パラダイム/異常心理学 ※臨床心理学に関わる職種や歴史等が概論的講義とする				
第 4 回	p11 基礎心理学概論 ※臨床心理学の基礎となる基礎心理学を行う、「心理学」と重複する				
第 5 回	基礎心理学ワーク ※2人1組のグループとなり調べ学習および発表とする				
第 6 回	p14 パーソナリティ理論/ビッグ5検査 ※自分・クラスメイトの性格の理解の一助となるよう暗記ではなく理解が必要				
第 7 回	パーソナリティ障害/ビッグ5理論 ※NEOPIRを基に異常心理学の理解を深める				
第 8 回	p20 心理面接とアセスメント/1-7補足 ※1-7補足としたが、ここまでの学習の調整的要素が強い				
第 9 回	p23 アセスメント① 性格検査 ※YG検査がメインとなる				
第 10 回	アセスメント② うつの検査 ※BDIがメインとなる				
第 11 回	p25 アセスメント③ 投影法 ※PFスタディがメインとなる				
第 12 回	p26 アセスメント④ 投影法 ※SCTがメインとなる				
第 13 回	p27 アセスメント⑤ エゴグラム/バウム ※エゴグラムのためのTEG3がメインとなる				
第 14 回	p29 学びの総まとめ① ※自主学習をメインにした復習とする予定				
第 15 回	学びの総まとめ② ※自主学習をメインにした復習とする予定				
評価方法	レポートで評価する。（100%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 臨床心理学（New Liberal Arts Selection） 有斐閣 丹野義彦 他				
	〔参考図書〕 使用しない				
履修上の 留意点	配布プリントは講義初回に全部配布する。紛失の場合の再発行は行わない。 原則シラバスに沿って行うが、学生の雰囲気や進捗状況を見て適宜変更する。 特に第2回講義内容の終了時間によって第3回以降のスケジュールは変更となる可能性が高い。				
メッセージ	「常識」とは18歳までに身に着けた偏見のコレクションでしかない。 と、故アインシュタインは言っています。この講義を通して自己の偏見コレクションに目を向けましょう。ちゃんとこの講義に取り組めば、自己や他者の見方が変わります。				